

大学名：広島市立大学 国際学部

ASPUnivNet の 4 つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	加盟支援担当地域からの新規加盟申請はありませんでした。
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	チャレンジ期間実施校での ESD 実践および加盟申請書の準備について、当該校より加盟申請を辞退するというメールを受信しましたので、それに対応しました。
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	近隣のユネスコスクールでの「総合的な探究の時間」において、パネルディスカッションでの指導助言（コメンテーター）ならびにポスターセッションでの審査員を務めました。
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	近隣のユネスコスクールでの「総合的な探究の時間」において、ESD および SDGs をふまえた探究の意義と方法について講演を実施しました。
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	広島地域のコンソーシアム事業（広島 SDGs コンソーシアム）に参画し、研修会と授業づくりワークショップの開催に協力しました。
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	該当する支援の要請等はありませんでした。
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞（広島県ユネスコ連絡協議会）のなかに「広島市立大学国際学部長賞」を創設し、広島市域の各方面にユネスコスクールについて知らせることができました。
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞（広島県ユネスコ連絡協議会）のなかに「広島市立大学国際学部長賞」を創設し、広島地域の多様なステークホルダーに本学も仲間入りをすることができました。
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	広島県ユネスコ ESD×SDGs 大賞（広島県ユネスコ連絡協議会）のなかに「広島市立大学国際学部長賞」を創設し、広島県・広島市の教育委員会との連携を促進することができました。

国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	該当する支援の要請等はありませんでした。
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	該当する支援の要請等はありませんでした。
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。 (例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	該当する支援の要請等はありませんでした。
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	国際学部においてはユネスコスクールの存在や意義はすでに広く知られています。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	学部および大学院の教職課程の授業において ESD や SDGs をはじめ、ユネスコスクールに関する事例を扱いました。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	該当する調査研究等はいませんでした。
	4. 自由記述	ユネスコスクールでの ESD および SDGs の取り組みは、ほぼ定着し安定してきているという印象です。近隣の学校から支援の要請があれば、今後できるだけお手伝いしたいと考えています。